

令和元年度 留萌地区の巻

事務局 留萌市立留萌小学校

留萌管内小中学校長会は、管内 27 校（小学校 17 校，中学校 10 校）の校長で組織している。今年度は、新採用の校長 5 名を迎えて 4 月 10 日に総会を開催し、新たな組織・体制で活動をスタートした。

I 本年度の活動方針

未来社会の要請に応える学校教育の在り方と方策が盛り込まれた新学習指導要領の全面实施に向け、留萌管内の各学校においても、その趣旨を活かし、次代を展望した教育課程の編成・実施が始まっている。

教育課程の編成に責任をもつ校長は、自校の子どもたちが将来をたくましく、しなやかに生き抜くことができる力を身に付けさせるため、社会の動向をとらえ、そこでの求められる教育の姿を見通すとともに、子どもたちが生きる地域の将来像も視野に入れながら、自校の教育課程を編成し、実践での具体化と実施後の的確な評価によって、よりよい教育活動をつくり上げていくことに全精力を注がなくてはならない。

また、学力や体力の向上、いじめや不登校の防止に向けた取組。道徳の教科化、小学校英語、小中連携・一貫教育、さらにはCSの導入など、様々な施策を適切に実施することが求められている。

留萌管内校長会では、それぞれの学校の教育目標の実現に向けて、会員相互の連携を図る中で、各校長がリーダーシップを発揮して課題を解決し、管内教育の充実を目指している。

「自立と創造」と「共生と躍進」が 2 本柱の「留萌教育のめざす姿」を実現するため、校長会の使命を確認し、連帯感を深めて管内教育の発展に寄与していかなければならない。

管内校長会の指針である「和心一統」すなわち、個々の信念を堅持しながらも、親和の心をもって一つにまとまり、真実を求めるという精



北海道版道徳教材「きた ものがたり」から
本間泰蔵が創業した最北の酒蔵「国稀酒造株式会社」

神に立ち返り、志を高く掲げ、明日を生きる留萌の子どもたちをしっかりと育てていく覚悟をもち、次に示す活動方針での適正な校長会運営を推進していく。

- 1 校長の使命と責任を自覚し、自らの識見を高める研修の充実と情報の共有を図る。
- 2 会員相互の連携を密にして信頼関係を深め、組織の強化と活動の効率化を図る。
- 3 物事や事象の変化に対し、柔軟に対応できる組織を確立し、その時のベストを目指す。
- 4 教育関係機関・団体及び地域社会との連携を強化し、諸問題の解決を図る。

II 活動の重点

1 教育改革を具現化する学校経営

- ① 創意ある教育課程の編成，実施，評価，改善
- ② 信頼を基盤とした社会に開かれた学校経営の推進
- ② いじめや不登校等，生徒指導上の諸問題への対応
- ③ 児童生徒の安全確保の徹底と危機管理体制の充実

④ 法令遵守の徹底と服務規律の保持

2 研修活動の充実と効率的な環流

- ① 留萌管内校長会教育研究協議会の開催
- ② 留萌地区教育経営研究会の開催
- ③ 道小胆振・苫小牧大会，道中岩見沢大会，全連小秋田大会，全日中群馬大会への参加

3 組織の強化と活動の効率化

- ① 理事研修会による内容面の充実と市町村

校長会との連携強化

- ② 事務局と各部及び市町村校長会との連携
- ③ 教育の諸課題に対する的確な情報提供
- ④ 全道・全国校長会、教育関係機関との連携

4 教職員の待遇改善

- ① 管理職手当，給与体系の改善
- ② 校長の退職手当及び職責に見合う退職時の処遇改善
- ③ 再任用の拡大と再就職の促進

Ⅲ 各部の活動方針

1 研究部

- ① 研究テーマに基づく研究推進
 - ◎新しい時代を創造し 豊かに生きるための確かな力を育む小中学校教育の推進～社会に開かれた教育課程の実現を図る校長の在り方～
- ② 道小教育研究北見大会第8分科会での提言に向けて設置した「提言プロジェクト委員会」での発表資料作成
- ④ 道中研究大会空知大会での提言に向けて設置した「提言プロジェクト委員会」での発表資料作成
- ⑤ 研究集録第50号を発刊し，研究の成果と校長会足跡の記録化
- ⑥ 道小・道中研究部，各市町村研究部及び関係機関との連携強化
- ⑦ 留萌管内研究団体連絡協議会の事務局担当として，管内各種研究会の連絡調整

2 組織部

管内校長会の運営方針と活動重点を受け，学校の諸問題を解決するために，会員相互の意識高揚と組織の強化及び福利厚生の実現に努め，管内教育の充実・発展に寄与する。

- ① 管内校長会事務局との連携を密にしながら，基礎資料を整理・活用して，組織機能の効率化に努める。
- ② 教育実践の効率化を図るために，教育条件の整備や会員の福利厚生に関する実態把握に努める。

- ③ 教育関係諸団体との積極的な連携を図り，各種の事業への協力と充実に努める。
- ④ 組織・法制に関する研修を実施し，学校における指導と管理の調和を図る。
- ⑤ 課題解決に向け，道小・道中等との連携を密にして，迅速かつ適切な対応に努める。

3 広報部

管内校長会の運営方針並びに活動の重点を受けて，効果的な活動を推進して会員相互の交流を図り，校長会組織に対する会員の意識の高揚と活動の活性化に努める。

- ① 年間4号の会報「留萌」を発行し，会員間の情報交換・交流を密にする。
- ② 市町村校長会広報部や道小・道中情報部との連携強化に努める。
- ③ 広報活動の充実に努め，管内校長会の取組や活動状況の啓発に努める。

Ⅳ 当面する課題

会員数の減少等の理由から改編した新たな組織での会運営を工夫して行い，少人数の利点を活かして有効に機能させていくことが必要である。

また，管内の教職員数も減少している中で，次代を担うミドルリーダーや管理職志望者の育成など，後継者を育てるための校長会組織による一体的な取組の在り方を検討し，実施していくことも課題である。

Ⅴ 役員

会 長	東 公康 (東光小)
副 会 長	富田 正夫 (羽幌中)
監査委員長	里見 清孝 (増毛小)
監 査 委 員	永沼 慧久男 (羽幌小)
事 務 局 長	前田 雄 (留萌小)
事務局次長	長尾 真 (留萌中)
会 計	藤田 智哉 (増毛中)
研 究 部 長	明田 豊 (苫前中)
組 織 部 長	小澤 真弓 (遠別小)
広 報 部 長	前田 郁美 (小平小)